

1. 開 会

2. 会長挨拶

小山内会長：

皆さん、こんにちは、本日はお忙しい中お集まりいただき、大変ありがとうございます。富良野地区もやっとコロナが減ったかなと思ったら、またちょっと増えたのですが、インフルエンザが限りなく増えてきて、いつの日かマスクを外してゆっくりこういう会議ができるようになるのを待っているところです。本日の推進会議は、第9期富良野市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定の最終会議です。会議の時間は短くなっておりますので、円滑な議事進行にご協力をお願いします。

3. 議 事

(1) パブリックコメントの結果報告について

⇒議案に基づき、事務局より説明

(2) 第9期富良野市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画成案について

⇒議案に基づき、事務局より説明

草野委員：

今まで審議された内容が反映されていると感じている。先日自分が参加した会議ではない、医療介護のワーキングに参加したスタッフから情報提供していただいて考えるところがあって、フレイルを発見するために、もしくはフレイルを予防していくために、地域リハビリテーション支援事業でいろいろなサロンに今参加させていただいていると思うが、そういった中で、今後の認知症予防というところで、なるべく認知症を早期に発見できることが大事ではないかということで、フレイル予防として集まるサロンや集まりの場でも、参加されている方が認知症についての対応の仕方や関わり方について理解を広めるような活動をしていけるといい。

フレイルはこの事業、認知症はこの事業と分かれるのではなく、フレイルの入り口に立っている方は認知症の初期に近い方や予備軍だったりする方が多いのではないかと思うので、そういったところの事業を完全に分離というよりは、いいところを掛け合わせるような、カバーし合うような形で、フレイル予防だけではなく認知症予防もしっかりとそこで早期発見して行ってきちんと市に情報を伝えられたり、そういった形で、ここで成案としてなったものはこれ以上ここから返るのは難しいと思うので、ここにある仕組みを掛け合わせて、来期取り組んでいけたらいいなと思ったので、ぜひ意見として述べさせていただいた。

小山内会長：

全て杓子定規というのは厳しいので、ただ、ケースバイケースで臨機応変対応するというのも難しいので、そこでもよろしくお願ひしたい。

事務局：

先日医療と介護の連携のワーキングチームを開催し、その中で出た意見として、認知症予防に関連する認知症の知識を深めるということと、フレイル予防について、今利用者の方もサロンなどに足を運んでいただけて取り組んでいることと、セットでしていくべきではないかというような意見があった。

今後のワーキングチーム会議の中で提案したのは、認知症については、計画にも載っているが認知症のケアパスなどを普及していくということで、コロナ禍もだいぶ落ち着いたので、サロンやミニサロンに足を運んで認知症予防の普及・啓発をしていくということで進めていく。その中で、フレイルについても保健師中心となって講話なども一緒に、認知症のケアパスの普及・啓発とともにフレイルに関する講話もできたらいいのではないかと、その会議の中でも話させていただいた。今後認知症だけのことで足を運ぶのではなく、そういった関連するフレイルについても周知できればいいと思っているので参考にさせていただいて、包括などの取組にも反映させていきたい。

4. その他

⇒事務局より、答申について確認。

事務局：

長期間にわたりご審議いただき、貴重な意見を賜ったことに感謝申し上げます。この後、市長応接室で市長へ成案を渡して報告をするが、会長と副会長と事務局で対応させていただきます。

小山内会長：

それでは、これで第5回の富良野市地域ケア推進会議を終了させていただきたいと思っております。どうもありがとうございました。

閉 会